

## 新たな営業・物流・生産拠点の建設に関するお知らせ

### 【 会社概要 】

シーピー化成株式会社は、1963年8月、岡山県井原市において、食品容器の製造販売を目的に創業いたしました。その後、営業所開設、物流センター・生産工場の増設を行い、1971年9月に旧社名である「中国パール化成株式会社」を設立、創業40年目の2003年9月に現社名へと変更いたしました。

近年、日本の「食」を取り巻く状況は大きく変化し、それとともに食品容器のスタイルも劇的な変化を遂げてきました。コンビニエンスストアやスーパーマーケット、百貨店等での惣菜や弁当類は飛躍的に多種多様化し、昨今では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、人々のライフスタイルが大きな変化を遂げており、「ニューノーマル」という考え方も一般的となっています。食品に対する信頼性や安全性・衛生面がこれまで以上に重要視されるようになったほか、テイクアウト・デリバリー需要に加え、巣ごもり関連の需要が大幅に拡大するなど、食品容器の役割は大変重要なものとなっています。一方で、プラスチックの資源循環は世界規模での社会課題となっており、よりサステイナブルな食品容器が求められています。

当社は、こうした社会課題に柔軟に対応し、保存性や機能性はもちろん、売場での演出や食べる人の気持ち、安全性、環境問題に配慮した食品容器を皆様のもとへお届けしています。

### 【 新拠点の建設について 】

当社は2019年に群馬県邑楽郡板倉町内の「板倉ニュータウン産業用地」に営業・物流・生産拠点構築のため用地を取得し、建設計画を進めてまいりました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当初のスケジュールを変更し、この度工事に着手する運びとなりました。

営業拠点『北関東オフィス(仮称)』をはじめとし、現在の北海道・関東(福島県)・埼玉・中部(岐阜県)・本社(岡山県)・九州(熊本県)の6つの物流拠点に加え、新たな物流センター『首都圏物流センター(仮称)』を整備します。また、その後には、関東(福島県)・本社(岡山県)・福山(広島県)にある6つの生産拠点に加え、新たな生産工場『首都圏工場(仮称)』の整備を計画しております。

各設備は完成次第、順次操業を開始してまいります。営業・物流・生産のすべての設備を整え、当社創業60周年となる2023年には、本社に次ぐ一大拠点としての本格稼働を目指します。

日本人口の三割が集中する関東圏における当社製品の需要拡大及び、更なる販路強化に向け、特に首都圏という一大消費地に最も近い拠点からの製造・配送によりお客様への継続的な食品容器の安定供給に加え、災害に対するリスクヘッジとしても新たな拠点が必要と判断し、建設を決定いたしました。

新拠点では、最新鋭の設備を導入することで人手不足に対応し、また、災害・環境面に配慮し、自家発電や太陽光発電及び蓄電装置の設置を計画しております。

当社は、生産力を増強し、さらにきめ細かな物流ネットワークを築き上げ、お客様が必要とするタイミングに確実に食品容器をお届けし、お客様により満足いただけるよう物流・生産基盤の強化を図ってまいります。

## 【 拠点概要 】

取得用地につきましては、東北自動車道館林インターチェンジから約6キロ、車で約10分、東京都心まで約1時間と交通アクセスが良好な立地であります。

総投資額につきましては、用地取得費用から、営業拠点・物流センター・生産工場の各設備建設費用を含め、約200億円を見込んでおります。各設備の概要は以下のとおりとなります。

### [取得用地]

所在地：板倉ニュータウン産業用地内（群馬県邑楽郡板倉町泉野2丁目41-5）

土地面積：110,684.14㎡（約33,482坪）

### 《位置図》



### 《全体完成予想図》



[営業オフィス]

名 称 : 北関東オフィス (仮称)

工事着工 : 2021年 9月

操業開始 : 2022年 4月予定

建築面積 : 424.89㎡ (約128.5坪)

延床面積 : 738.32㎡ (約223.3坪)

要 員 : 15名程度

特 徴 : 南側は、当社への来訪者の視認性を高め、採光を活かすよう開口部を大きく開き、北側は逆に隣地とのプライバシーを保つため開口部を少なくしたデザイン。BCPの一環として、水害を想定し2階部に事務所機能を配置、停電時対策には発電機設備を導入。

《完成予想図》



### [物流センター]

名 称 : 首都圏物流センター (仮称)

工事着工 : 2021年 9月

操業開始 : 2022年11月予定

建築面積 : 28,228.17㎡ (約8,539.0坪)

延床面積 : 48,642.33㎡ (約14,714.3坪)

要 員 : 20名程度

保 管 数 : 約20万ケース

配送エリア : 1都5県 (東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県・群馬県・茨城県)

特 徴 : 庫内作業の効率化を図るフレキシブルなセンターとし、ラック・庫内搬送・荷札貼り・出荷仕分等を最新鋭の設備にてオートメーション化、システム管理による生産性の向上を行い、省人化を図る。

建物には、屋根材に断熱性能を有するダブルパック工法を採用し、太陽光パネルの設置を可能とする構造。

### 《完成予想図》



### [生産工場]

名 称 : 首都圏工場 (仮称)

工事着工 : 2022年中の予定

操業開始 : 2023年中の予定

建築面積 : 詳細を計画中

延床面積 : 詳細を計画中

要 員 : 100名程度

特 徴 : インライン型により省人化を図り、環境配慮型容器の生産増強に対応した工場とする (詳細は現在計画中)。

### 《完成予想図》

現在設計中の為、非公開

### 【当社お問い合わせ窓口】

担当部署 : 経営企画室 CSR推進課

連絡先 : 0866-62-6695